

2018年3月1日
東急建設株式会社

土木技術系新入社員が現場で即戦力として活躍できる教育体系を構築 ～現場配属前に、10か月の実務カリキュラム研修を実施～

東急建設株式会社（東京都渋谷区：社長 飯塚恒生）は、土木技術系新入社員を対象に従来行ってきた新入社員研修を見直します。2018年度からは、現場対応力を得られる実務カリキュラムをより充実させた、実務型研修へと進化させます。

本社土木本部が主体となり、現場で即戦力として活躍できる技術員を10か月間の研修期間で育成する教育体系を構築しました。

2017年度は、土木技術系新入社員にとって非常に重要である土木構造物構築の基礎を理解するために、新入社員自らが鉄筋を組み、型枠を組み立て、生コンを打設する「コンクリート工事体験研修」を取り入れました。その他にも、合宿型の「測量研修」も実施。寝食を共にしながら実務の場で研鑽しあい、新入社員同士の一体感が強化されたことは、新入社員にとって貴重な財産になったと考えており、今後も継続していく方針です。



「コンクリート工事体験研修」の様子



機械による「測量研修」の様子



ICTを利用した測量の様子

2018年度は、2017年度の研修実績をふまえ、研修期間を従来の1.5か月から10か月へと大幅に拡充します。その結果、充実した実務カリキュラムのもと、身につけた新入社員が即戦力として現場に配属されることとなります。

新入社員を受け入れる現場においても、一定の教育を受けた社員が配属されることにより、現場負担の軽減が見込まれます。

具体的なカリキュラムとしては、土木工学の基礎となる土質の知識、コンクリートを中心とした基礎的技術、現場に必要な仮設構造物の計算などを学び、施工支援業務としては、施工計画や設計技術、CAD技術、ICT技術、グローバル化への対応として英語教育なども取り入れます。前述の「コンクリート工事体験研修」や合宿型の「測量研修」も継続して実施します。

なお、建築技術系、事務系の新入社員につきましても、従来の教育体系をベースに新たなカリキュラムを加え、さらに充実・進化させる形で教育を行っていきます。



東急建設は、『ICTの積極活用』による新たな価値の提供と業務プロセスの革新に取り組んでいます

【本件に関する問合せ先】

東急建設株式会社 管理本部 経営企画部 広報担当 渡鍋

TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail:webmaster@tokyu-cnst.co.jp